

村上議員（ひろしま令和）

令和3年12月15日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）キャリア教育の一環としての職業訓練校の体感について

高校1年生の早い段階において、キャリア教育の一環として職業訓練校を体感してもらうことが有効な手段だと考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

高等学校におきましては、産業構造や社会システム等の変化を踏まえながら、自己のキャリア形成と関連付けて生涯にわたって学び続けていけるよう、学びに向かう力の育成やキャリア教育の充実を図ることが必要であると認識しております。

各学校におきましては、職業訓練校をはじめ関係機関等と連携を図り、

- ・ 職業や上級学校等に関する新しい情報を生徒に与えて理解させ、それを各自の進路選択に活用させる活動や、
- ・ 生徒にインターンシップやオープンキャンパスへの参加を通じて、自己の能力・適性等を分析させたり、具体的に進路に関する情報を得させたりする活動

など、キャリア教育の視点に立った活動を入学時から計画的に取り組んでおります。

県教育委員会といたしましては、生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けられるよう、キャリア教育の充実を、引き続き、図ってまいります。